

## 2021 年度 授業計画(シラバス)

学 科	柔道整復スポーツ学科		科 目 区 分	専門分野	授業の方法	講義
科 目 名	基礎柔道整復学・各論Ⅱ		必修/選択の別	必修	授業時数(単位数)	30 (2) 時間(単位)
対 象 学 年	1年生		学期及び曜時限	後期	教室名	
担 当 教 員	伊黒 浩二	実務経験と その関連資格				
《授業科目における学習内容》						
各関節の解剖学的構造を理解した後に、各骨折の発生についてを学びます。						
《成績評価の方法と基準》						
1. 定期試験:100% 2. レポート: % 3. グループワーク中の態度・発表: %						
《使用教材(教科書)及び参考図書》						
パソコン(パワーポイント・スピーカー)、各種計測機器など						
《授業外における学習方法》						
教科書を使用して復習を必ず行なって下さい。						
《履修に当たっての留意点》						
柔道整復師の業務範囲である骨折ですが、徒手整復の対象外となることの多い部位となります。しかし、スポーツ現場等で発生することも想定されますので、発生機序や処置法についてはしっかり理解しておく必要があります。また、国家試験にも頻出の部分となりますので、国家試験対策も含めての演習も並行して実施していきますので、復習を怠らないようにして下さい。						
授業の方法	内 容			使用教材	授業以外での準備学習の具体的な内容	
第1回	講義形式	授業を通じての到達目標	骨盤の解剖学的特徴について理解できている。	教科書、PPT	講義の復習と次回講義の予習を必ずすること	
	講義形式	各コマにおける授業予定	骨盤の解剖学的特徴について			
第2回	講義形式	授業を通じての到達目標	骨盤骨折の発生器序について理解できている。	教科書、PPT	講義の復習と次回講義の予習を必ずすること	
	講義形式	各コマにおける授業予定	骨盤骨折の発生機序について			
第3回	講義形式	授業を通じての到達目標	骨盤骨折の治療法と後療法について理解できている。	教科書、PPT	講義の復習と次回講義の予習を必ずすること	
	講義形式	各コマにおける授業予定	骨盤骨折の治療法と後療法について			
第4回	講義形式	授業を通じての到達目標	大腿骨の解剖学的特徴について理解できている。	教科書、PPT	講義の復習と次回講義の予習を必ずすること	
	講義形式	各コマにおける授業予定	大腿骨の解剖学的特徴について			
第5回	講義形式	授業を通じての到達目標	大腿骨骨折の発生器序について理解できている。	教科書、PPT	講義の復習と次回講義の予習を必ずすること	
	講義形式	各コマにおける授業予定	大腿骨骨折の発生機序について			

授業の方法		内 容		使用教材	授業以外での準備学習の具体的な内容
第6回	講義形式	授業を通じての到達目標	大腿骨骨折の整復法と固定法、後療法について理解できている。	教科書、PPT	講義の復習と次回講義の予習を必ずすること
		各コマにおける授業予定	大腿骨骨折の整復法と固定法、後療法について		
第7回	講義形式	授業を通じての到達目標	膝関節の構造について理解できている。	教科書、PPT	講義の復習と次回講義の予習を必ずすること
		各コマにおける授業予定	膝関節の構造について		
第8回	講義形式	授業を通じての到達目標	膝蓋骨骨折の発生機序について理解できている。	教科書、PPT	講義の復習と次回講義の予習を必ずすること
		各コマにおける授業予定	膝蓋骨骨折の発生機序について		
第9回	講義形式	授業を通じての到達目標	膝蓋骨骨折の整復法と固定法、後療法について理解できている。	教科書、PPT	講義の復習と次回講義の予習を必ずすること
		各コマにおける授業予定	膝蓋骨骨折の整復法と固定法、後療法について		
第10回	講義形式	授業を通じての到達目標	下腿骨の解剖学的構造と特徴について理解できている。	教科書、PPT	講義の復習と次回講義の予習を必ずすること
		各コマにおける授業予定	下腿骨の解剖学的構造と特徴について		
第11回	講義形式	授業を通じての到達目標	下腿骨近位端部骨折について理解できている。	教科書、PPT	講義の復習と次回講義の予習を必ずすること
		各コマにおける授業予定	下腿骨近位端部骨折について		
第12回	講義形式	授業を通じての到達目標	下腿骨骨幹部骨折について理解できている。	教科書、PPT	講義の復習と次回講義の予習を必ずすること
		各コマにおける授業予定	下腿骨骨幹部骨折について		
第13回	講義形式	授業を通じての到達目標	下腿骨遠位端部骨折および足関節脱臼について理解できている。	教科書、PPT	講義の復習と次回講義の予習を必ずすること
		各コマにおける授業予定	下腿骨遠位端部骨折および足関節脱臼について		
第14回	講義形式	授業を通じての到達目標	後期の範囲が理解できている。	教科書、PPT	講義の復習と次回講義の予習を必ずすること
		各コマにおける授業予定	まとめ		
第15回	講義形式	授業を通じての到達目標	後期履修内容を理解し、国家試験過去問が解けるようになる。	教科書、PPT	講義の復習と次回講義の予習を必ずすること
		各コマにおける授業予定	総まとめ		